

## 多自然川づくり取り組み事例

タイトル：川上ダム転流時のオオサンショウウオ保護	
水系/河川名：淀川水系/前深瀬川	河川分類：中小河川
河川の流域面積：54.7km <sup>2</sup>	整備計画流量：m <sup>3</sup> /s(W=1/) セグメント：M
事業：河川改修	事業開始年度 平成30年度
目標設定：定性的	段階：D(実施・施工時)
課題・目的(主な)：貴重種、特定動植物の保全	
工法(主な)：その他	
配慮事項(主な)：委員会、協議会等の開催	

## 背景・課題、目標設定

## &lt;背景&gt;

川上ダム建設事業を実施する前深瀬川流域には、特別天然記念物に指定されているオオサンショウウオが生息している。

このため、事業実施にあたっては、様々な環境保全措置を実施している。

ダム本体掘削工事の着手にあたり、転流を行うが、この区間に生息しているオオサンショウウオを確実に保護し移転する必要がある。また、孵化後概ね6ヶ月～3年の幼生は、発見が難しいとされている。

## &lt;目標&gt;

転流区間内に生息するオオサンショウウオを確実に保護し、移転する。

## 取り組み内容・対策例

- ・オオサンショウウオの繁殖期を考慮し、孵化幼生が巣穴から分散する1月～3月に配慮して、転流実施は4月1日以降とする工程制限を設定した。
- ・過去のオオサンショウウオ保護の事例や生態を考慮し、転流直後から4日間昼夜連続で調査を実施した。



水抜き後の調査状況



重機による石めくり状況



植生の根際の調査

## モニタリング結果、アピールポイント、今後の対応方針

## &lt;調査結果&gt;

- ・十分な調査計画の立案と準備を行い、転流区間内の水を可能な限り抜き干し上げた状態で全ての石をめくって調査を実施したことで、確実にオオサンショウウオを保護することが出来た。
- ・孵化後概ね6ヶ月～3年の幼生(孵化幼生後の幼生)は発見が難しいとされ



		準備工事		本工事				合計
		3月19日	3月28日	4月4日	4月5日	4月6日	4月7日	
成体等	成体	0個体	1個体	3個体	6個体	1個体	0個体	11個体
	亜成体	0個体	1個体	2個体	2個体	1個体	0個体	6個体
孵化幼生等	孵化幼生後の幼生	1個体	0個体	4個体	10個体	21個体	0個体	36個体
	孵化幼生	0個体	0個体	3個体	0個体	8個体	0個体	11個体

## 備考